

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 1 回 学校規模学校配置適正化検討委員会
開 催 日 時	平成 2 3 年 7 月 2 8 日 (木) 1 3 時 3 0 分～
開 催 場 所	生涯学習センターコスモス 2 階 資料展示室
出 席 者	<p>【出席委員】 水本徳明 中村強 山口良元 中川稔 小林義治 矢口忠衛 福田智彦 小仁所浩 西村浩一 鈴木美樹 中島浄 沼田マサ 竹内昌信</p> <p>【欠席委員】 野村武勝 星野広幸 立原幸子 邊見亜津子 飯島利武</p> <p>【教育委員】 鶴町庄二 沼田新 澤島照子 本田仁子 沼田和美</p> <p>【事務局】 小松修也 戸塚俊宏 成井修也 海老澤光志 佐々木浩 菅谷清美 吉田江梨子</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小美玉市の基本方針案の検討協議 ・ その他
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)

協議の内容

【協 議】

(1) 小美玉市の基本方針案の検討協議

委員長 今日、基本方針案の中身を議論していく。前回、時間を十分とってほしいというご意見があったので、今回は時間を長めにとっている。みなさんに知恵を出していただいて議論を進め、中身を決めていきたい。

事務局 ・資料の確認
・前回の適正化委員会議事録の了承を求める。

委員長 前回の会議を踏まえて、学校規模ごとにアンケート結果（資料2～4）を出した。ここでご指摘をいただいて公表したいと思う。また、基本方針の案を私のほうで作成した。中身の柱立てとしてはどうか、まずは枠組みについて議論していただきたい。それに合意いただけたら、アンケートの結果を見ていきたい。その次に、基本方針にどのような中身を入れていくかを議論したい。その際、全体で意見を出していくと時間がかかるので、いくつかのグループに分かれ、基本方針の項目の中に何を盛り込めばよいか案を出してほしい。それを考えるための材料として、アンケート結果を用意した。今日は以上のような形で進めていきたいが、どうか。

【全員同意】

委員長 では、私が作った基本方針の構成案について簡単に説明します。

<資料1 を読み上げながら項目の確認>

一番下に書いてある資料というのは、委員会への諮問文や学校規模に関するデータというようなものがあると思う。この構成案はあくまで参考なので、みなさんに意見を出していただいて、修正・追加をしていきたい。この柱立て（大きな数字、括弧の数字の項目）について何か意見はあるか。

→特に修正や追加なし

では、大きな数字と括弧の数字の項目については、このような枠組みでいきたいと思うが、よろしいか。

【全員同意】

次にアンケート結果について説明します。

前回の議論で、学校名を出さずにデータを集計するという意見でまとまったので、学校を規模ごとに3つにグループ分けし、デー

タを集計した。

○資料2について

児童数200人未満の学校を小規模小学校，200人～300人未満の学校を中規模小学校，300人以上の学校を大規模小学校とした。便宜的に分けただけで，この規模が大中小の定義を表しているわけではない。

・P1 9表2（小学校保護者）

→小規模校ではもっと多い方が良いという意見，中大規模校では，ちょうど良いという方が非常に多い。1学級あたりを見ると，どの規模の学校でも50%程度の方がちょうど良いと答えている。ただ小規模校では，34.1%の方がもっと多いほうが良い，中大規模校では，35%を超える方がもっと少ない方が良いと答えている。規模によって答え方が違う。

・P1 9表3（小学校教員）→保護者と同じような傾向である。

・P2 10表4～6

→規模に関係なく，21人～30人が良いという意見が圧倒的に多い。

・P3 11表7～9

→（表7）規模により違いがある。小中規模校では，2学級が良いという意見が多い。大規模校だと3学級が良いという意見が多い。小学校の保護者が答えている中学校の学級数については，小中規模校の保護者は3学級が良いという意見，大規模校ではかなりばらつきがある。市民については（表8），あまりばらつきはなく3学級が良いという意見が多い。小学校教員（表9）については，規模に関係なく，2学級が良いという意見が多い。

・P4 12表10～12

→これは，どのくらい規模が小さくなった時に対策が必要かというアンケートである。規模により違いがある。保護者（表10）では，小規模校で学年が5～10名で対策が必要という考えが多い。それに対して中大規模校では，学年20名になったら対策が必要と考えている。中学校については同じような傾向であった。市民の意見（表11）においても，規模によって意見の違いがある。小学校教員（表12）については，規模に関係なく学年10名で対策が必要と答えている。

・P5 13表13～15

→配置についての考え方である。小規模小学校の保護者（表13）は、通学区域の見直しはするが、統合はしないという意見が28.7%で多い。ただ、通学区域の見直しをはずして考えれば、統合しても良いという意見が、合わせると30%になる。

○資料3について

中学校については、規模毎にまとめても学校名が容易に推測されることから学校名を出して集計結果を出した。データを見ても、個々に出してまずい箇所はないと思うが、どうか。

【異議なし】

では、中学校については学校別のデータを出します。

・P1 9表1～2

→（表1）全校数については、美野里中学校についてはもっと少ないほうが良い、その他の学校についてはちょうど良いという意見が多い。1学級あたりの生徒数についても同様の傾向がある。

（表2）どの学校においても、教員はもっと少ないほうがよいという結果である。

・P2 10表3～4

→保護者（表3）については、若干ばらつきがあるが、どの学校でも21人～30人という意見が多い。中学校教員（表4）についても同様である。

・P2 11表5～6

→（表5）小学校の望ましい学級数については、規模による違いがあり、小川北中と玉里中では2学級が良い、小川南中と美野里中では3学級が良いという意見が多い。中学校の望ましい学級数については、小川北中、玉里中、小川南中では、3学級が良い、美野里中では、5学級以上が良いという意見が多い。現状に即した回答が出たと思う。

（表6）中学校の先生方の回答ですが、全体を見ると3学級が良いという意見が多い。美野里中の先生方は中学校は4学級が良いという意見が多い。

・P3 12表7～8

→（表7）小学校について言うと、学年20名で対策が必要という方が多い。中学校については学年1学級で対策

が必要とする方が多いが、美野里中では、2学級で対策が必要と答えた方が多かった。

(表8) どの学校も、学年1学級という意見が多い。

・P4 13表9～10

→保護者の回答(表9)で、小学校について言うと、通学区域の見直しプラス統合ありという意見が多くなっているが、美野里中の保護者については、統合はなしという意見が多い。中学校の先生方(表10)のご意見としては、どの学校においても通学区域見直し、統合ありが一番多い。

○資料4「自由記述まとめ」について

これは、調査票の最後の自由記述を分析したものである。①「児童生徒の登下校にかかわるキーワード」(資料4 P1) ②「児童生徒の学校・学級生活にかかわるキーワード」(資料4 P2) ③「その他のキーワード」(資料4 P3) の3つに分けて分析した。

①については、保護者を中心に子どもたちの通学に関する問題が挙げられており、統合を考えた場合に、通学距離が伸びることや通学時間が増えることが不安材料となっていることが分かる。スクールバスを出してほしい、その際の費用の問題が心配だ、安全確保等の意見、スクールバスを出してある程度の学校の規模を確保すれば良いという記述もあった。逆に、できるだけ徒歩で通えるようにして、車で送迎する負担がないようにしてほしいという記述もあった。

②については、美野里中に関する記述が多いが、これはそもそも美野里中の回答者数が多いということが原因だと思われる。中身を見ていくと、統合すると学級規模が大きくなるために、教師の目が行き届かなくなるという懸念が挙げられている。また、教師が余裕を持って生徒に接してほしいという気持ちがある一方で、学級規模が小さくなると子どもの切磋琢磨する機会が減少してしまうのではないかということも挙げられた。望ましい学校規模としては、クラス替えができる、人間関係に幅を持たせることができるというものが挙げられていた。

③については、地域に触れた意見がたくさんあった。学校が地域の中にあって様々な価値を持てる、地域住民の意見を取り入れてほしい、地域の実情に合った統廃合にしてほしい、などという意見が挙げられた。また、防災拠点・避難場所としての学校の存在意義というような指摘もあった。それから、アンケートの意図

や活用方法に関する指摘もあり、アンケートが統合を前提にしている、市の状況が把握できていないので回答が難しいというようなものもあった。全体的に見ると、16%の方が自由記述を書いていた。

委員

今からこの結果を元に議論をしていくわけだが、我々が想定していなかった市民の意見を中心に、十分考慮して話し合いを進める必要があると思う。また、グループ分けとしては、学校の先生がそれぞれのグループに入っていた方がいいと思う。いろいろな立場があるなかで議論した方がいい。

委員長

それでは、今からグループに分かれて基本方針の構成案に何を加えていくかを検討してほしい。出た意見を付箋に書き、項目ごとに前の黒板に張ってください。これで確定というわけではないので、自由にたくさんの意見を出していただきたい。

< 2 : 3 5 ~ 3 : 5 0 グループ討論 >

< 3 : 5 0 ~ 各グループの意見発表

(発表内容については、資料5を参照) >

委員長

ここでみなさんから出していただいたご意見を私と事務局で整理して、素案を作成したいと思う。

8月いっぱいまでに基本方針を完成させる予定だったが、時間的に難しいので、予定を若干先延ばしする必要がある。

次回、この会議で出された意見をまとめた素案を出し、その内容を議論していただく。それをまた修正して、次の次くらいには基本方針を完成させたいと思う。そのようなスケジュールでどうか。

【全員同意】

では、今述べたようなスケジュールで進めさせていただきます。次回議論していく上で、アンケートでこのような分析をしてほしいというような要望はあるか。私は、「どういう力を身につけてほしいか」と「どういう規模が望ましいか」の質問を合わせて分析しようと考えている。例えば、小規模を希望している保護者は子どもにどんな力を身につけさせたいのか、など規模と教育の関係を分析してみたい。どういう考えで、どういう希望があるから、このような規模になっているというデータを出してみたいと思っている。

16 : 15 閉会